
平成28年9月定例記者会見

日時：平成28年9月6日（火）13：30～

場所：本学事務局3階第1会議室

内容：

1. 長岡技術科学大学開学40周年記念式典について
東 信彦 学長
2. 国際技学カンファレンスの開催について
高橋 昭男
技学イノベーション推進センター産学官連携コーディネーター
3. 第36回技大祭の開催について
高杉 凌平
技大祭実行委員会第36回実行委員長／建設工学課程4年
4. 技大祭特別講演会「LINEのビジネス」について
鈴木 信貴 情報・経営システム工学専攻准教授
5. 『成長する身体感覚な実践 LAB 型ラウンジ』活動について
改田 哲也 技術科学イノベーション専攻教授
6. 本学学生によるベンチャーについて
～集光追尾太陽電池に関する
NEDO新エネルギーベンチャー技術革新事業の採択～
中谷 誠和
株式会社サンマリオン／エネルギー・環境工学専攻1年

以 上

報道資料

平成28年9月6日

報道機関各位

長岡技術科学大学
学長 東 費彦

長岡技術科学大学開学40周年記念式典について

| | | |
|-------|-------|--------------------------|
| 日 | 時 | 平成28年10月7日(金) |
| | | 記念式典 15:00~16:00 |
| | | 記念祝賀会 17:00~19:00 |
| 場 | 所 | 記念式典 長岡技術科学大学 講義棟2階 A講義室 |
| | | 記念祝賀会 ホテルニューオータニ長岡 白鳥の間 |
| 記念式典 | 15:00 | 開式の辞 |
| | 15:05 | 国歌独唱 |
| | 15:10 | 学長式辞 |
| | 15:15 | 来賓祝辞 |
| | 15:45 | 祝電披露 |
| | 15:50 | 大学歌斉唱 |
| | 15:55 | 閉式の辞 |
| 記念祝賀会 | 17:00 | 開式の辞 |
| | | 学長式辞 |
| | | 乾杯 |
| | | 来賓祝辞 |
| | 19:00 | 閉会 |

以上

第5回 国際技学カンファレンス in 長岡

10月6日(木)

地域活性化部門・グローバル情報交換会 ～海外のコーディネーターとの直接対話～

場所：まちなかキャンパス 301号室

プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 15:00-15:05 | 開会の挨拶 小林高臣 技術科学イノベーション専攻 |
| 15:05-15:45 | 第一部【ベトナムの今、そしてこれから】 ・田中康之 株式会社 田中衡機工業所 社長 ・ホーチミン市計画投資局 (日本語通訳付) |
| 15:45-16:00 | 第二部【タイ日系企業の現状と将来】 ・Sunisa Supapol Assistant Senior Manager, Thai Nippon Seiki Co., Ltd |
| 16:00-16:10 | Coffee Break and Net working |
| 16:10-16:20 | 第三部【GTP ハノイから】 ・Dr. Hua Thuy Trang、GTP ハノイ・コーディネーター |
| 16:20-17:30 | 各 GTP コーディネーターとの意見交換 Dr. Pako (メキシコ), Dr. Trang (ハノイ), Dr. Pat (タイ), Dr. Rohani (マレーシア), Dr. Obikane (モンゴル) |
| 17:30-17:35 | 閉会の挨拶 三上喜貴 理事・副学長(国際連携・産学連携担当) |

10月7日(金)

国際部門 ～Best Practices of GIGAKU～

場所：長岡技術科学大学

プログラム

- | | |
|-------------|------------------------------|
| 09:00-11:15 | 第1 プレナリー (マルチメディアセンター) |
| 11:15-11:25 | Coffee Break and Net working |
| 11:25-12:30 | 第2 プレナリー (マルチメディアセンター) |
| 12:30-14:00 | ポスター発表 (講義棟1階) |

※付属のポスター参照

THE 5th INTERNATIONAL GIGAKU

CONFERENCE IN NAGAOKA (IGCN2016)

第5回国際技学カンファレンスin長岡 ～ Best Practices of GIGAKU ～

会議プログラム

10月6日(木)

地域活性化部門

<まちなかキャンパス長岡>

- ・講演

10月7日(金)

国際部門

<長岡技術科学大学>

- ・基調講演
- ・ポスター発表

参加方法

- ・会議ウェブサイトをご確認ください
- ・本会議への参加は無料となっております

会場(長岡技術科学大学)までのアクセス

- ・JR: 東京駅から長岡駅まで上越新幹線で約90分
- ・高速道路: 関越自動車道、北陸自動車道長岡I.C. から約5分
- ・バス: 長岡駅大手(西)口7番線から技大行き乗車で約30分
- ・タクシー: 長岡駅大手(西)口から8.5km約20分

お問い合わせ

国際技学カンファレンスin長岡組織委員会事務局

E-mail: igcn@gigaku.org

ウェブサイト: <http://igcn.gigaku.org>

<地図>



まちなかキャンパス長岡
長岡駅大手(西)口から徒歩5分
新潟県長岡市大手通2-6 フェニックス大手イースト4F

～錦鯉～

新潟県長岡市の山古志を中心とした一帯に「二十村郷」と呼ばれた地域があり、そこが錦鯉発祥の地と言われていいます。錦鯉は日本で作られた唯一の観賞魚で「國魚」と言われています。錦鯉はカラフルな色彩と大きく育つことから「世界最大のガーデンフィッシュ」として海外では特に人気があり、愛好家が増えています。

THE 5th INTERNATIONAL GIGAKU

CONFERENCE IN NAGAOKA (IGCN2016)

第5回国際技学カンファレンスin長岡
~ Best Practices of GIGAKU ~

Conference Program

6th October (Thu)

Regional Activation Section
<Machinaka campus Nagaoka>
• Keynote Speech

7th October (Fri)

International Section
<Nagaoka University of Technology>
• Plenary Session
• Poster Session

Registration

- Please refer to conference website
- No participation fee

Transportation Access

- JR Joetsu Shinkansen : Approx. 90 min from Tokyo station to Nagaoka station
- By Highway : Approx. 5 min from Nagaoka Interchange of Hokuriku Expressway / Kanetsu Expressway
- By local bus : Approx. 30 min from bus stop No. 7 at the West exit of Nagaoka station
- By Tax : Approx. 8.5km/20 min from West exit of Nagaoka station

Inquiry

IGCN 2016 Secretariat of the Organizing Committee
Nagaoka University of Technology
E-mail : igcn@gigaku.org
Website : <http://igcn.gigaku.org>

<Map>



Machinaka Campus Nagaoka
Five minute walk from Nagaoka station (West exit)
Level 4, Phoenix Ote East, 2-6 Otedori, Nagaoka,
Niigata Prefecture TEL : 0258-39-3300

~ Nishikigoi 錦鯉 ~

Nishikigoi, have been called the national fish of Japan, are the only ornamental fish produced by Japan. Yamakoshi/Nagaoka city is the birthplace of Nishikigoi. Nishikigoi, often referred to as the "Living Jewels or works of art". Today, Nishikigoi are bred not only in their place of Niigata, but also all over Japan, and are exported all over the world.

第36回技大祭の開催について

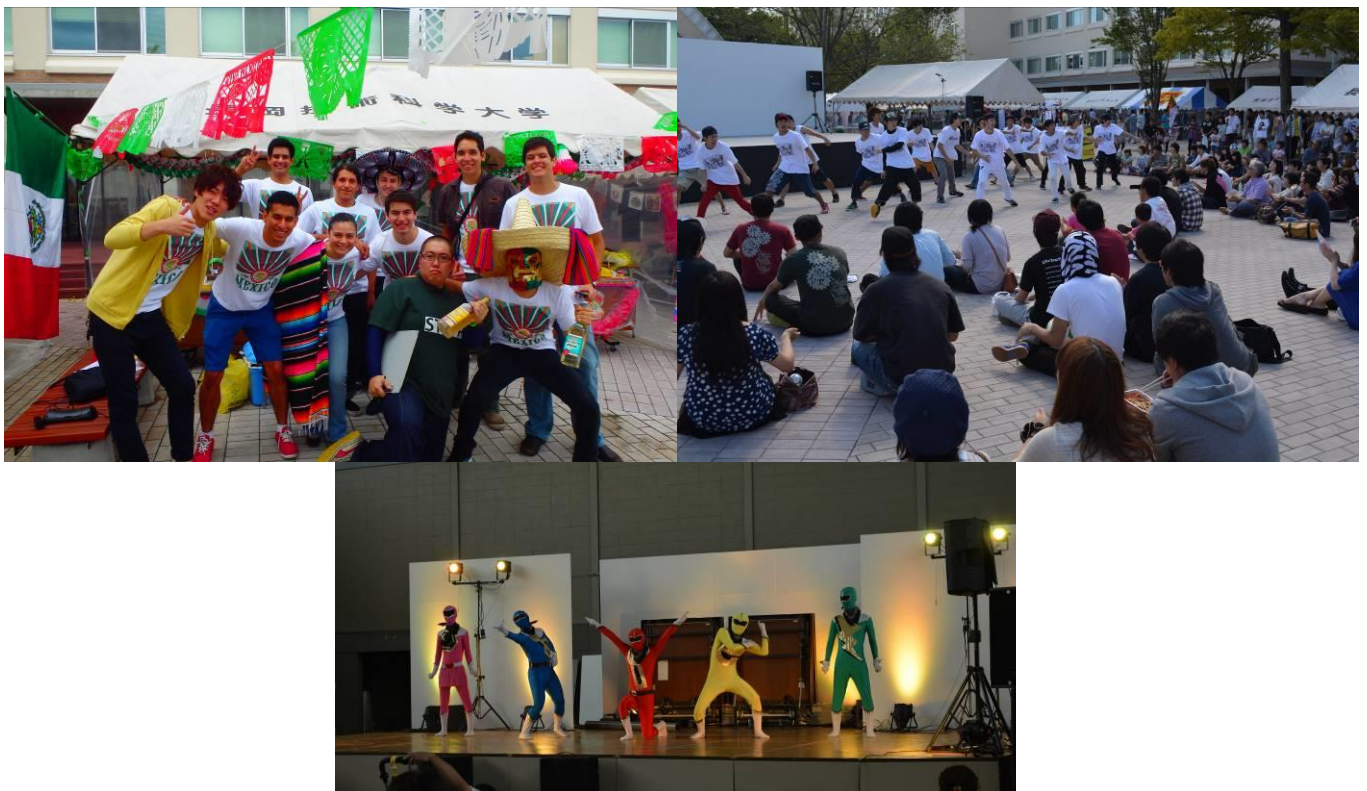
長岡技術科学大学では、毎年9月に技大祭実行委員会が主催する「技大祭」を開催しております。**今年度の技大祭では、“Present”をテーマに掲げ、9月17日（土）～18日（日）の2日間にわたり開催いたします。**

技大の開学40周年という記念すべき年に、技大祭を通じてお世話になりました皆さまに感謝の気持ちを伝えたい、という思いから今年のテーマを「Present」に決定いたしました。

私たちは、ご来場の皆様が未知や非日常を能動的に体験していただくことで「経験・感動・笑顔」をPresentできるような技大祭にしたいと考え企画いたしました。

謎解きを通して技大の魅力や研究を探索していただく「リアル謎解き探索ゲーム」や、日本マイクロソフト株式会社 西脇資哲氏による講演会、LINE 株式会社 太田和弥氏と本学教員との対談会などが今年の技大祭の大きな魅力となっています。他にも、技大の高度な技術・研究をご紹介する「研究室公開」「研究フォーラム」も行っております。サークルや有志団体によるパフォーマンス、サークル活動の活動発表・体験会、留学生による国際色豊かな模擬店やダンスパフォーマンスなども是非お楽しみください。毎年人気の「ギダイジャー」や、「ゆるキャラ」によるイベントはもちろん、大興奮の「ビンゴ大会」など楽しんでいただける企画をご用意しました。

ご来場の皆様には、たくさんの魅力を詰め込んだ技大祭を「経験」していただくことにより、「感動」や「笑顔」をお届けしたいと考えております。私達が贈る「Present」、是非受け取ってください！



技大祭にLINEの人が来るらしい

え、ホントに？どうして来るの？

講演会だってw ちょっと調べてみるよ

あ、ほら。これじゃない！？

長岡技術科学大学 技大祭 特別講演会「LINEのビジネス」

日時：9月17日(土)14:00～15:30

場所：長岡技術科学大学 講義棟 A講義室

参加費：無料

事前申し込み不要

LINE株式会社
エンターテインメント事業部
太田 和弥 氏



長岡技術科学大学
情報・経営システム工学専攻
鈴木 信貴 准教授



～ LINEの太田氏と長岡技大の鈴木准教授が
LINEのビジネスについて語り合う！！～

主催：長岡技術科学大学 情報・経営システム工学専攻
経営戦略・技術経営・ものづくり研究室
e-mail：stmmlab2014@gmail.com

COME
ON!!

『成長する身体感覚な実践 LAB 型ラウンジ』活動について

技学イノベーション専攻の学生を主体に、より実践的なものづくり感性と創造性を研磨し、市場化を想定した様々なイノベティブアイデアを実体化し体感できる LAB 型ラウンジを設置し、その活動を開始したのでお知らせします。

なお、本活動の第一弾「こんな灯りもあつたらいいね。」プロジェクトの成果報告も兼ねて、下記のとおり本活動に関して報道機関への公開と取材機会を作りますので、併せてご案内します。

1. 活動名称 表題のとおり（通称「イノベの泉ラウンジ」活動）

2. 設置場所 本学原子力棟2階211室内

3. 活動開始 本年4月より

4. 作品展示

1) 日時 9月17日（土）、18日（日）10:00～16:00

（両日、第36回技大祭（大学祭）を実施します。）

なお、活動内容のお問い合わせには随時対応します。

学長戦略課広報係までご連絡ください。

（電話 0258-47-9209）

2) 内容 第一弾プロジェクト「こんな灯りもあつたらいいね。」

成果の展示紹介ラウンジ施設および機能全般

映像講義およびワークショップ など

5. 活動経緯 本ラウンジのコンセプト及び計画は、技学イノベーション専攻カリキュラムのひとつである「技学イノベーションデザイン論」の授業成果として考案されました。

また、その過程ではラウンジ活動から発展する将来像として、学びの温泉スパなど宿泊滞在も可能な『イノベーション NUT 区計画』も構想されました。

なお、ラウンジのインフラ企画製作は、地元企業である(有)野村木工所とのコラボとなります。

6. 参考 第一弾プロジェクト「こんな灯りもあつたらいいね」のご紹介

新コンセプトの照明アイデアを「移ろう」「奏でる」「営む」の3テーマで学内から募り、総数30のアイデアが生まれ、その代表案を学内にて実製作し、技大祭等にて展示体験会を開催します。



集光追尾太陽電池に関するNEDO新エネルギーベンチャー技術革新事業の採択
～分散二軸追尾と散乱光併用集光により単位面積対高発電量である集光追尾太陽電池の開発～

株式会社サンマリオン 代表取締役社長

ホームページ:<http://sun-marion.com/>

長岡技術科学大学 エネルギー環境工学専攻 社会人博士1年

中谷 誠和

1. 概要

株式会社サンマリオンと、長岡技術科学大学 エネルギー工学研究室（山田昇教授）が連名で申請した開発事業計画が国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の新エネルギーベンチャー技術革新事業フェーズAに採択された。

株式会社サンマリオンは前職が太陽電池メーカーである代表者が平成28年3月1日に長岡市で設立した。

2. 開発事業内容

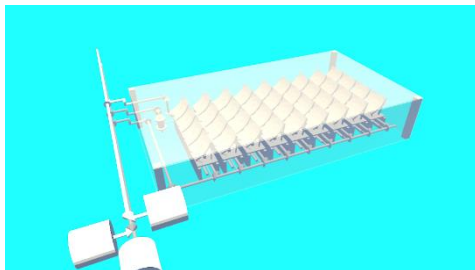
下記の追尾装置（代表者が開発）と、集光太陽電池（山田教授が開発）を用いることにより、面積対高発電量である発電系を実現する。

A. 操り式分散二軸追尾装置（マリオネットトラッカー）（特許出願中）

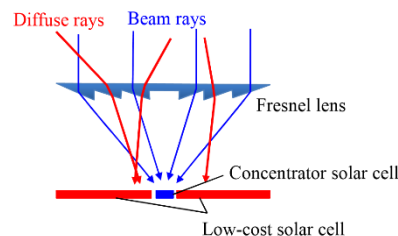
リボン系を用い、同時多数にMT childとよぶ追尾単位を動かすことにより、高さが低く、施工が容易、密集可能な追尾装置を実現する。

B. 散乱光併用集光太陽電池（CPV+）（特許出願中）

直達光（太陽から直接来る光）を高発電する集光太陽電池と散乱光（間接的に来る光）を発電する一般太陽電池を合わせることにより、高発電電力を実現する。



マリオネットトラッカー



CPV+

この2つを合わせることにより、世界一面積対高発電量である発電系を実現する。

3. 現在の進捗

MT child 単体で稼働しており動作精度、耐久性、多数同時駆動の向上を図っている。

CPV+は、シリコンを減量でき、コストを安価にできる新光学系の設計解析開発を行っている。

（特許出願予定）